



ETK1945039

CFJB40-U1CM
CFJB40-U4CM
工法書

ご使用前に、この工法書を良くお読みの上、内容を理解してから、ご使用下さい。
お読みになった後も、この工法書は大切に保管してください。

▽ 安全上のご注意 ~安全にご使用いただくために必ずお守りください~

この工法書には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次に示すとおりになっております。内容を良くご理解のうえ本文をお読みください。

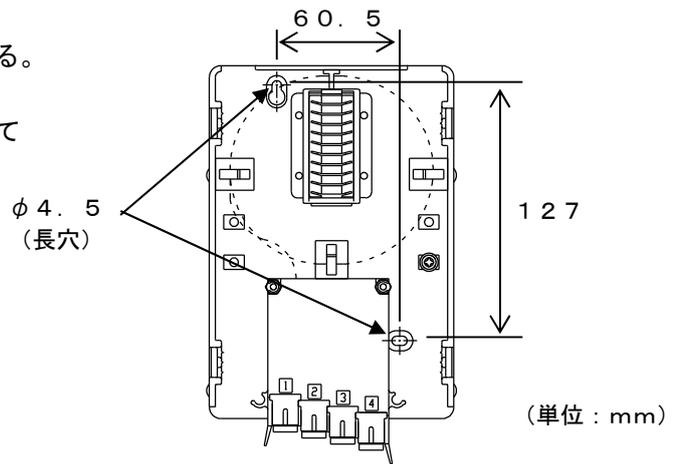
本製品に関する安全上のご注意	
 <p>危険</p> <p>右記内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが想定されます。</p>	—
 <p>警告</p> <p>右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 壁面固定の際、落下などの無いように、確実に固定して下さい。 ・ 高所での施工時には、部品及び使用工具が落下しないようにご注意ください。
 <p>注意</p> <p>右記内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および、物的損害の可能性が想定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刃物などのご使用時には十分に注意してください。 ・ 本品の組立には、本品以外の部品を使用しないでください。 ・ 締め付けトルクを規定した作業は、その規定を守って作業をしてください。接続函の機能低下及び破損の原因となります。
<p>お願い</p> <p>右記の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の性能を発揮出来ない可能性及び、機能停止をまねく可能性が想定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光ファイバの配線は、許容曲げ半径 30 mm 以上をお守りください。 ・ 融着作業は、ご使用の融着接続機の取扱説明書をご覧ください。

1. 壁面への固定

ケース本体を壁面にネジでしっかりと固定する。

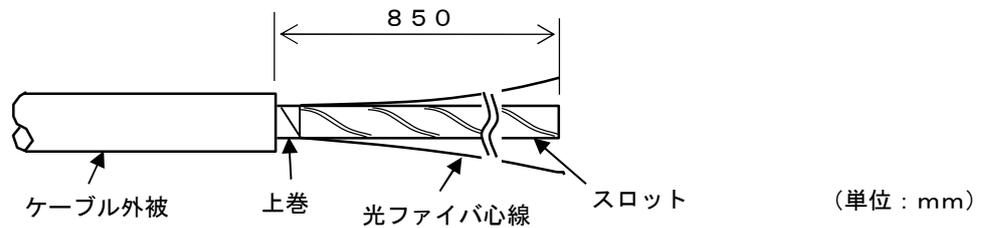
※固定用のネジは添付されておりません。

壁の強度や種類に合わせてネジを準備して下さい。

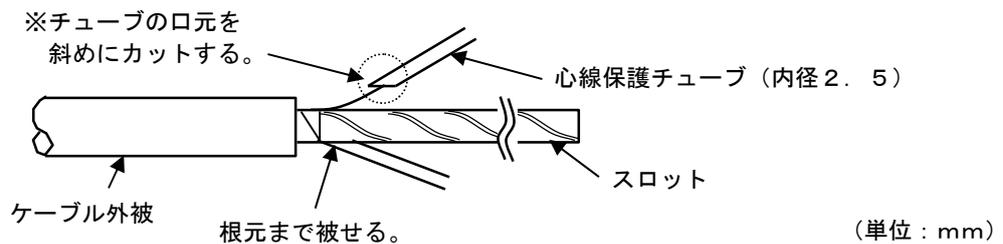


2. ケーブルの処理

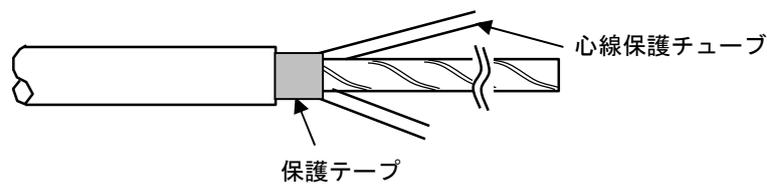
①ケーブル外被を剥ぎ取り、上巻を除去する。



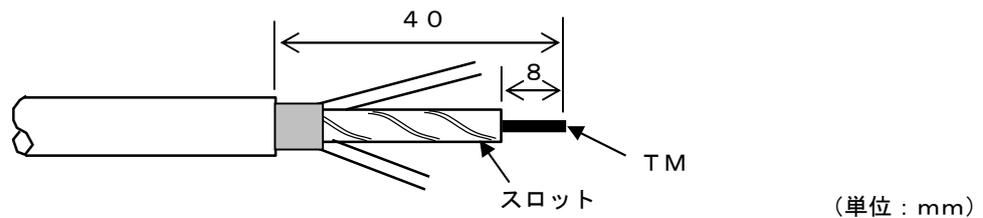
②スロット毎に心線に切断した心線保護チューブ（別途購入品）を被せる。



③心線保護チューブ上に保護テープ（別途購入品）を2回以上巻き付けて、チューブを固定する。

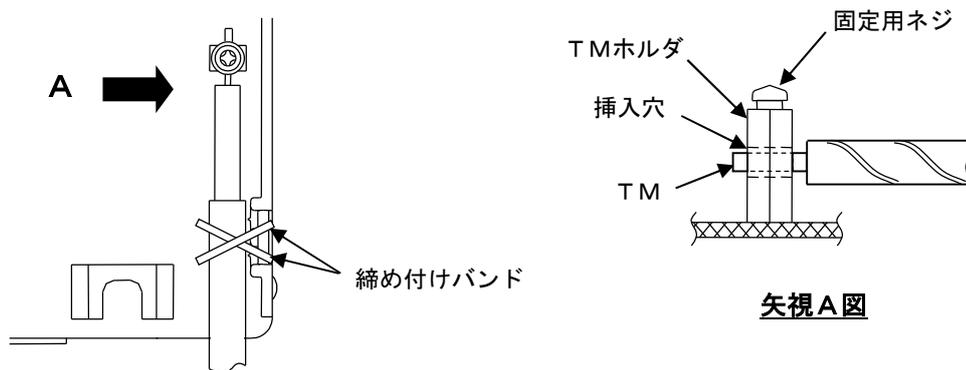


④スロットを切断し、テンションメンバ（以下TM）を口出しする。



3. ケーブルの固定

- ① TMホルダの挿入穴にTMを挿入し、固定用ネジを締めて固定する。
- ② ケーブル外被を添付の締め付けバンドで締め付ける。



4. 心線の接続・収納

- ① 心線を接続する。

※接続機の取り扱いについては、ご使用の接続機の工法書に従ってください。

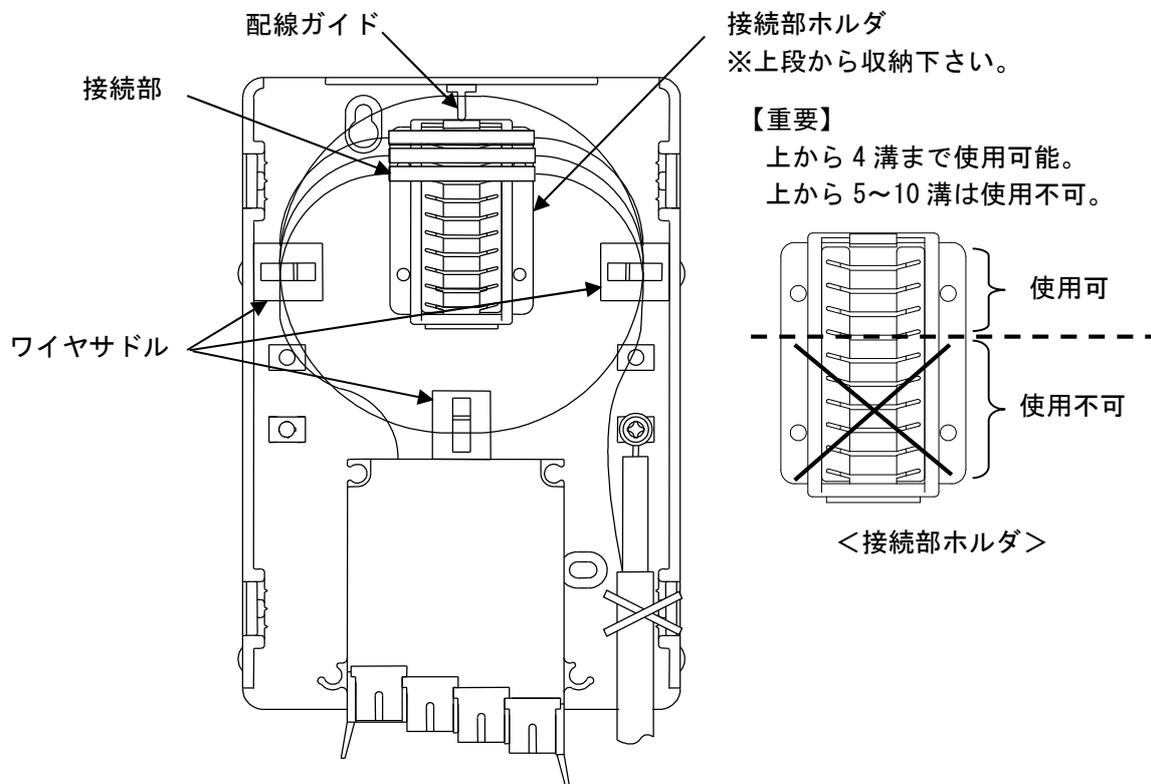
- ② 接続部（融着補強スリーブ又はメカニカルプライス）を「接続部ホルダ」に固定、余長を「配線ガイド」「ワイヤサドル」を使用し収納する。

※接続部は、4 (W) x 4 (H) x 40 (L) mm 以下のものを使用して下さい。

(注) 融着補強スリーブ及びメカニカルプライスは本製品には含みませんので別途ご用意下さい。

※余長は極力撚りが入らないようにターンを取り収納して下さい。

※余長を収納する際は、曲げ半径30mm以下にならないように注意して下さい。

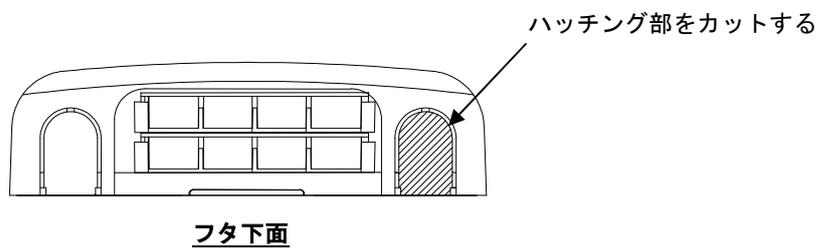


5. フタの加工・取り付け

フタ下面の右側ノックアウト（下図ハッチング部）をニッパー等でカットする。

*ノックアウト部のバリは出来るだけ綺麗に取り除いて下さい。

*フタを被せる際に心線を本体との間に挟み込まないように注意して下さい。



以 上